

科目名	地域フィールドスタディ(事業創造研究) Business Field Research	選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・火・6 限	-	-
担当教員名	宮島 敏郎	e-mail	
<p><講義の概要と目的></p> <p>学生が主体的に新潟の起業事例や優れた企業経営について、あるいは事業創造に必要な調査や研究を行うことを中心とした科目である。そうした調査や研究の手法として有効なフィールドワークの技法を伝授すると共に、実際に講義内においてその実践と結果の討議を行う。従って本科目では取り組むテーマを履修者自身が決め、個人あるいはグループで企業や現場に出向いてインタビューしたり参与観察を行ったりして、フィールドワークを主体とした調査や研究を行う。</p> <p>本科目で求められるのは、文献リサーチを行ったり過去の情報や理論から演繹的に答えを求めたりする姿勢ではない。自ら現場に出向き観察や聞き取りによって得た1次情報から、帰納的にあるいはアブダクションを駆使した思考により答えを得ようとする姿勢である。そのためにデザイン思考やジョブ理論など、フィールドワークの意義を教える手法や理論も講義する。履修生はフィールドワークや情報収集によって得た調査・研究の内容を逐次講義でレポート、全員でディスカッションする。このような調査・研究・ディスカッションを通じて、起業志望者や企業人に求められる自律的な能力を身につけることを目的とする。すなわち、意義ある問題設定能力、問題を掘り下げるための調査・研究能力、問題の解決策を生み出す能力の三つである。</p>			
<p><講義計画></p> <p>1 週目：フィールドスタディ概論① フィールドワークの基本的な技法・作法と、意義あるテーマの選び方について説明する。</p> <p>2 週目：フィールドスタディ概論② 仮説の立て方、インタビューのやり方、参与観察、漸次構造化法などについて説明する。</p> <p>3 週目：研究テーマの決定とディスカッション 各履修者の研究テーマについて、その意義や論点を履修者全員でディスカッションする。</p> <p>4 週目：行動観察をイノベーションにつなげる 場にある事実を観察し考察することで、潜在価値を見出し仮説を立てるイノベーションの手法。</p> <p>5 週目：研究テーマの調査内容の中間報告とディスカッション 各履修者がそれぞれの調査・研究の進捗状況を報告し、履修者全員でディスカッションする。</p> <p>6 週目：エスノグラフィーが描き出す顧客の真の姿 行動観察で購買の真の動機を明らかにし、自社ビジネスの本質を考察するセンス・メイキング。</p> <p>7 週目：研究テーマの調査内容の中間報告とディスカッション 各履修者がそれぞれの調査・研究の進捗状況を報告し、履修者全員でディスカッションする。</p> <p>8 週目：デザイン思考 行動観察によるインプットをコンセプトに昇華させアウトプットにつなげるデザイン思考。</p> <p>9 週目：研究テーマの調査内容の中間報告とディスカッション 各履修者がそれぞれの調査・研究の進捗状況を報告し、履修者全員でディスカッションする。</p>			

<p>10 週目：ジョブ理論 ユーザがどのような用事を解決したいのかを観察、考察することで起こすイノベーション。</p> <p>11 週目：研究テーマの調査内容の中間報告とディスカッション 各履修者がそれぞれの調査・研究の進捗状況を報告し、履修者全員でディスカッションする。</p> <p>12 週目：イノベータの DNA クリステンセンの破壊的イノベータ研究が明らかにした、観察力や質問力など5つのスキル。</p> <p>13 週目：研究テーマの調査内容の中間報告とディスカッション 各履修者がそれぞれの調査・研究の進捗状況を報告し、履修者全員でディスカッションする。</p> <p>14 週目：研究テーマの調査内容の中間報告とディスカッション 各履修者がそれぞれの調査・研究の進捗状況を報告し、履修者全員でディスカッションする。</p> <p>15 週目：最終プレゼンテーション フィールドワークによる成果をパワーポイントでまとめ、プレゼンテーションを行う。</p>
<p><講義の進め方> おおむね2回に1回の割合でフィールドワークの中間報告を行ってもらおう。それ以外の回はフィールドワークの理解と実践に資する論文等を教材として用いる。</p>
<p><準備学習内容> テキストの事前精読とプレゼン資料の作成に、2～3時間程度の予習が必要である。</p>
<p><教科書及び教材> 使用する講義資料は前の講義の終了時に配布する。</p>
<p><参考書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣 ・小池和男『聞き取りの作法』東洋経済新報社 ・佐藤郁哉『実践フィールドワーク入門』有斐閣 ・佐藤郁哉『フィールドワークの技法～問いを育てる、仮説をきたえる』新曜社 ・佐藤郁哉『フィールドワーク 増訂版』新曜社 ・奥出直人『デザイン思考と経営戦略』NTT出版
<p><成績評価方法> 欠席6回以上は成績評価しない。期末レポート、毎回の発表、ディスカッションへの参加を4:4:2の割合で評価する。</p>
<p><履修条件> 聞き取りを中心としたフィールドワークを、講義とは別に主に平日の日中に（1回につき2～3時間程度を要する）最低2～3回は確保することが可能な人。</p>
<p><DVDによる視聴> 可</p>
<p><オフィスアワー> 火曜 17:00～20:00。事前にアポイントをとること。</p>
<p><その他> 学内SNSを連絡、情報交換ツールとする。</p>